



No.82

令和8年7月21日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report

名田庄小学校



関連記事 P20

Contents



議会だよりの
バックナンバーは
こちらから

特集	6月補正予算 / 出資法人経営状況	2
開会・定例会議	条例改正・補正予算などを審議	6
活動報告	議員全員研修・委員会視察研修	10
一般質問	「原子力発電所の必要性についての見解は」など 6人登壇	13
※一般質問の動画配信はこちらからご覧いただけます。→		
追 跡	「コンビニでの住民票など交付システムの整備」など	19



幸福と繁栄への新たなチャレンジへ」

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

農林水産業 対策

農林水産業では、技術革新の進展に対応した、デジタル技術の導入を推進。

●農作物鳥獣害対策事業

711万8千円

町内全域での鳥獣出没・被害の対策を、専門技術者を活用した組織体制をつくり、集落などへの支援を行う。

問鳥獣出没システムにおいて、クマの個体数管理は行わないのか。

答県や広域での取り組み方針を受け、対応する予定。

●岩の鼻農村公園管理運営事業

390万円

外周の生け垣が枯死などにより美観が損なわれているため、フェンスを設置。

問暴風対策や遮音性はどうなるのか。

答維持管理の面からフェンスを設置するが、防風性なども検討する。

●農業用施設維持補修事業

840万円

渇水対策として、農業用水源（井戸）調査を長井地係、小堀地係で実施。

合併後の6月時点で、過去最大規模となる、予算総額

176億4039万9千円を議会として注視



クマ出没情報地図イメージ



現在の岩の鼻農村公園の生け垣の様子

交流の促進

「まちづくりアイデアコンテスト」や移住・定住事業の推進、建設中の合宿施設を活用した交流を進めるほか、こども家族館内の「恐竜体験ゾーン」などを活用し、交流人口の拡大につなげる。

●空き家等対策事業

1661万6千円

空き家購入、空き家リフォームに対する補助。

教育

●学校ICT教育推進事業

4692万9千円

各小中学校教職員用ICT機器を更新する。

●小学校管理事業

763万3千円

本郷小、大島小グラウンドマーク設置工事など。

●厩会館管理事業

226万6千円

自立看板修繕工事など。

問「陰陽道のふるさと」のような表記に変更する予定は。

答既存看板枠を活用するため、可能な範囲で文言を検討する。



現在の厩会館の看板の様子

防災対策

●排水路管理事業（設計料）

6655万円

本郷区内（樋の口川、よばた川など）の浸水対策。

問 計画では、どの程度の降雨量に対応できるのか。

答 10年確率で計画しており、時間当たり56ミリの降雨量に対応する計画となっている。

●急傾斜地崩壊対策事業（工事費）

8190万円

大島（河村）地係の、急傾斜地崩壊対策。

●防災カタログ配布事業

2271万1千円

各世帯に防災カタログを配布し、必要な防災用品を申し込み、防災への備えの充実を推進。

●防災用ドローン購入 418万円

問 購入するドローンの活用方法は。

答 災害時の施設の状況、土砂崩れ箇所の確認などの他、サーモカメラの温度感知機能を備えていることから、人命捜査などにも活用する。

●農業用施設維持補修事業（設計料）

360万円

冠水対策として、本郷沿岸付近の道路2路線を嵩上げする。

●漁港施設整備事業（設計料）

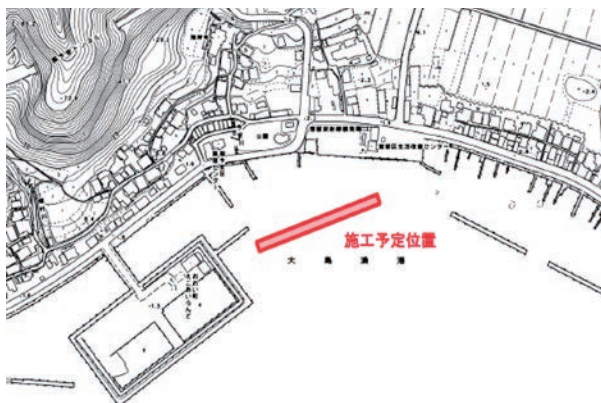
2183万5千円

脇今安防波堤の新設。

●海岸保全施設整備事業（工事費）

3600万円

河村護岸の修繕。



脇今安防波堤新設予定位置

※肉付け予算
町長選挙後に政策的な経費を補正する予算のこと。

【スローガン】

「未来を拓く！」

福祉対策

●コンビニ交付システム導入事業

2288万円

税証明、印鑑証明、住民票などの交付をコンビニで取得できるシステムの整備。

問 県内外どここのコンビニでも取得できるのか。

答 町の設定した証明書であれば可能となる。

●医療用機械器具導入事業

595万円

診療所における医療器具の更新。

問 更新機器は医療者の意見は反映しているか。

答 計画に基づき医療者と検討し対応している。



ドローンのイメージ

商工観光業対策

●ふるさと納税返礼品開発促進支援事業

補助率 2/3 上限 2000万円

ふるさと納税返礼品の開発、生産にかかる費用。

議案第36号 一般会計補正予算（第2号）

【反対討論】 猿橋 巧 議員

大飯発電所1・2号機廃炉に伴う、廃炉交付金代替財源問題の道筋が見えていない不安定な財源は問題である。

住民票などのコンビニエンスストアでの交付システム整備は、少数利用者とマイナンバーカード所持者への利便が図られるもので、格差を助長しかねないため、反対する。

【賛成討論】 辻 徹 議員

原子力政策、防災、福祉、教育、産業振興など、各分野において、町政4期目のスローガン「未来を拓く！幸福と繁栄への新たなチャレンジへ」に向けた、強い決意が示された肉付け予算となっていることから、賛成する。

法人の経営状況を確認

※受託料とは町から支払われる運営に対する委託料のこと。

報告第5号

株式会社 おおい

主要管理施設の主な利用状況は「あみーシャン大飯」では温泉棟・施設内の改修工事により営業再開後には多くの方々に来店いただきました。「おおい町総合運動公園」では、スポーツ教室を開催して利用者の増加に取り組みました。「赤礁崎オートキャンプ場」「きのこの森」においては、課題が残る厳しい結果となりましたが、「情報交差点ポータル」では利用者は増加し「道の駅 うみんぴあ大飯」は目標としていた30万人を超えました。



令和7年度決算額は

利用料・販売料収入	4億5477万2799円	売上原価	2億1922万983円
受託料	3億2722万9746円	販管費	6億2666万9269円
町補助金	5942万7913円	合計	8億4589万252円
その他収入	1015万5168円		
営業外収益	65万3321円	当期経常利益（損失）税引前	
合計	8億5223万8947円		<u>634万8695円</u>

報告第6号

株式会社 名田庄商会

頭巾山青少年旅行村エリアは、ホテルにおいて昨年度を上回る実績で推移したものの、人員不足や設備の故障などで計画どおりの営業が出来ず売上は低迷しました。道の駅 名田庄は、人流が活発になってきたことにより入込客数が増加し、売上も伸びました。そば処は、雪の影響による冬季間の売上低迷が響き、昨年度を少し上回る実績に留まりました。



令和7年度決算額は

利用料・販売料収入	1億5862万4142円	売上原価	1億2200万5449円
受託料	7231万7000円	販管費	1億2556万5214円
町補助金	1600万5000円	売上値引等	10万5098円
その他収入	0円	合計	2億4767万5761円
営業外収益	130万8778円	当期経常利益（損失）税引前	
合計	2億4825万4920円		<u>57万9159円</u>

令和7年度 町が出資する

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

報告第7号

わかさ大飯マリンワールド株式会社

平成30年4月の商業施設3店舗の同時オープン以来、更なる賑わいが創出され、エリア全般の集客が大幅に増加するなか、残る1区画の民間企業誘致の実現に向けて、町との連携強化に努めています。



令和7年度決算額は

売上高	3687万6712円	売上原価	0円
特別利益	0円	販管費	1242万9465円
営業外収益	29万9882円	営業外費用	27万307円
合計	3717万6594円	合計	1269万9772円
		当期経常利益（損失）税引前	<u>2447万6822円</u>

報告第9号

株式会社 名田庄ウッディーセンター

営業努力により王子木材㈱の伐採木を取り込むことができましたが、昨年以上に出材が少なかったため、増収までには至りませんでした。



令和7年度決算額は

事業収入	3485万4701円	支出計	4081万8979円
事業外収入	5万6400円		
合計	3491万1101円	当期経常利益（損失）税引前	<u>▲590万7878円</u>

報告第8号公益財団法人グリーン大飯農業公社と報告第10号おい町土地開発公社については、非営利団体のため経営状況報告を省略しています。

令和8年4月開会会議 議案審議結果

議案番号	件 名	付託・審議	議決結果	参照先
承認第 1号	専決処分の承認を求めることについて (おおい町町税条例の一部改正について)	—	承認	P7
承認第 2号	専決処分の承認を求めることについて (おおい町国民健康保険税条例等の一部改正について)	—	承認	
議案第29号	おおい町一般職の職員等の旅費に関する条例及びおおい町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〈全協〉	原案可決	
議案第30号	令和8年度おおい町一般会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第31号	工事請負契約の締結について (佐分利小学校空調・照明・高圧設備更新工事)		原案可決	
議案第32号	工事請負契約の締結について（本郷小学校校舎等改修工事）		原案可決	
議案第33号	工事請負契約の締結について（総合運動公園球技場照明LED化工事）		原案可決	
議案第34号	工事請負変更契約の締結について (おおい町総合運動公園合宿施設（宿泊棟）建設工事)		原案可決	P8
同意第 1号	おおい町教育委員会委員の任命について	—	同意	
同意第 2号	おおい町教育委員会委員の任命について	—	同意	
同意第 3号	おおい町監査委員の選任について	—	同意	

令和8年6月定例会議 議案審議結果

議案番号	件 名	付託・審議	議決結果	参照先
報告第 4号	令和7年度おおい町一般会計繰越明許費繰越計算書	—	—	—
報告第 5号	株式会社おおいの経営状況報告について	—	—	P4, 5
報告第 6号	株式会社名田庄商会の経営状況報告について	—	—	
報告第 7号	わかさ大飯マリンワールド株式会社の経営状況報告について	—	—	
報告第 8号	公益財団法人グリーン大飯農業公社の経営状況報告について	—	—	
報告第 9号	株式会社名田庄ウッディーセンターの経営状況報告について	—	—	
報告第10号	おおい町土地開発公社の経営状況報告について	—	—	
議案第35号	おおい町こどもの遊び場の設置及び管理に関する条例の制定について	〈総務〉	原案可決	P8
議案第36号	令和8年度おおい町一般会計補正予算（第2号）	〈予算〉	原案可決	P2, 3, 8
議案第37号	令和8年度おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	P9
議案第38号	令和8年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第39号	令和8年度おおい町簡易水道事業会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第40号	令和8年度おおい町下水道事業会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第41号	工事請負変更契約の締結について（いきいき長寿村改修工事）	〈総務〉	原案可決	
議案第42号	動産の取得について（トイレカー（災害用備品））		原案可決	
—	議員派遣報告および議員派遣	—	—	

賛否が分かれた議案

	寺井	高本	中西	屋敷	田中	堤	細川	原田	辻	尾谷	猿橋啓	今川	猿橋巧
議案第36号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案第40号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●

○は賛成、●は反対、除は除斥、退は退席、欠は欠席（原田議長は採決に加わらない）

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

開会会議

令和8年4月21日

審議内容

開会会議に付議された、承認2件、議案6件、同意3件を審査した。

議案審議

専決処分を承認

●承認1号

専決処分の承認を求めることについて（おおい町町税条例の一部改正について）

「地方税法等の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。

【主な変更内容】

- ・軽自動車税において、グリーン化特例の適用期限を令和10年度末まで延長する。
- ・固定資産税において、令和6年能登半島地震に係る被災住宅用地特

条例改正を可決

●議案29号〈全協〉

例措置を令和9年度分まで延長する。

【全会一致・承認】

●承認2号

専決処分の承認を求めることについて（おおい町国民健康保険税条例等の一部改正について）

「地方税法施行令等の一部を改正する政令」が施行されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。

【主な変更内容】

- ・基礎課税分の課税限度額を引き上げる。
- ・国民健康保険税の軽減対象となる所得基準において、軽減判定所得の算定における被保険者数に乗ずる金額を引き上げる。

【全会一致・承認】

補正予算を可決

●議案30号〈全協〉

令和8年度おおい町一般会計補正予算（第1号）

国における給食無償化の実施に伴い、小学校の

工事請負（変更）
契約を可決

●議案31号〈全協〉

工事請負契約の締結について（佐分利小学校空調・照明・高圧設備更新工事）

佐分利小学校の空調設備、照明設備、高圧受変電設備の更新を行うもの。

・契約金額
1億8106万円
・契約の相手方
株式会社こんどう

【全会一致・可決】

●議案32号〈全協〉

工事請負契約の締結について（本郷小学校校舎等改修工事）

本郷小学校の屋上防水、外壁改修、空調設備更新、照明設備改修、トイレの洋式化、エレベーター新設などの大規模改修を行うもの。

【全会一致・可決】

・契約金額
7億6186万円
・契約の相手方
株式会社時岡組

【全会一致・可決】



本郷小学校の外壁の現況

●議案33号〈全協〉

工事請負契約の締結について（総合運動公園球技場照明LED化工事）

おおい町総合運動公園球技場の照明をLED化にするもの。

・契約金額
6337万2354円
・契約の相手方
株式会社 荒木

【全会一致・可決】



【全会一致・可決】

保護者負担金を無償化するともに、町独自の施策として、中学校の保護者負担金についても無償化するもの。

【補正内容】
学校給食保護者負担軽減事業補助金を計上する一方で、小学校と中学校の学校給食費保護者等実費弁償金を減額するほか、財政調整基金からの繰入を減額し、歳入歳出の均衡を図るため予算額の増減なし。

●議案34号〈全協〉

工事請負変更契約の締結について（おおい町総合運動公園合宿施設（宿泊棟）建設工事）

地下水量が想定を上回ったことによる、水揚工事を追加するもの。

・変更契約金額

2738万3千円

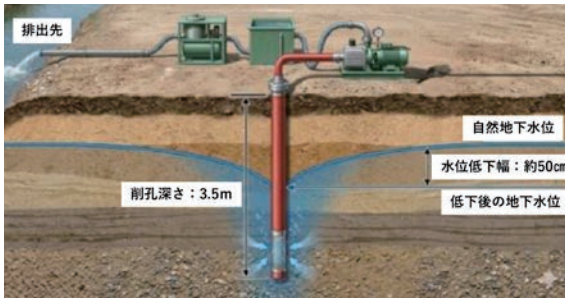
・変更後契約金額

8億4226万3千円

・契約の相手方

株式会社 時間組

【全会一致・可決】



地下水水揚イメージ

教育委員会委員の任命に同意

●同意1～2号

おおい町教育委員会委員の任命について

任期満了に伴い、次の方の任命に同意した。

はたけなかいねこ

畠中 稲子（名田庄小倉畑

ふじい よしみ 藤井 好美（大島）

【全会一致・同意】

監査委員の任命に同意

●同意3号

おおい町監査委員の選任について

任期満了に伴い、次の方の任命に同意した。

かきもとこういち

柿本 浩一（久保）

【全会一致・同意】

6月定例会議

令和8年6月5日～23日

■審議内容

6月定例会議に付議された、報告7件、議案8件を審査した。

■議案審議

条例制定を可決

●議案35号〈総務〉

おおい町こどもの遊び場の設置及び管理に関する条例の制定について

名田庄三重地係に整備を行う「おおい町こどもの遊び場」の設置及び管理に関する条例を制定するもの。

主な質疑

問 こどもの遊び場が設置される「さきやま会館」は、三重区の防災拠点施設になっているが、併用されるのか。今後併用する。

答

こどもの遊び場は、三重区の防災拠点施設になっているが、併用されるのか。今後併用する。

討する。

問 駐車場から施設へ入る道路の横断箇所、横断歩道が必要ではないか。

答 警察と横断歩道や安全帯の設置について協議している。

【全会一致・可決】



こどもの遊び場

補正予算を可決

●議案36号〈予算〉

令和8年度おおい町一般会計補正予算（第2号）17億5198万8千円増額

【主な歳出内容】

3つの公約、「町の未来を拓く」「幸福度・満足度の向上」「地域の未来を拓く」を実現するため、防災、福祉、農林水産業、交流、商工観光、教育など、各分野において「肉付け」予算を編成。

主な質疑

問 町の第二次総合計画が終了するが、第三次計画は策定するのか。

答 計画の策定は、法的な縛りがなくなつたため、既存の「未来創生戦略」などを活用し、町づくりに取り組む。

問 令和7年度の区長要望に対応する事業数は。

答

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

答 今回の補正予算で23の要望を事業化し、予算総額3億1600万円余りとなっている。

問 台湾との友好交流に関する予算が計上されていないのは。

答 課題もあることから、今後計画を立てて検討していく。

※一般会計補正予算に関する概要や主な質疑などは2、3ページ（特集ページ①）に記事あり。

【賛成多数・可決】

●議案37号〈予算〉
令和8年度おい町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

236万2千円増額

【主な歳出内容】

国の子ども子育て支援金制度に伴うシステム改修に要する経費など。

【全会一致・可決】

●議案38号〈予算〉
令和8年度おい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第1号）

595万円増額

【主な歳出内容】

携帯型心電計などの医療用機器の購入に要する経費など。

【全会一致・可決】

●議案39号〈予算〉
令和8年度おい町簡易水道事業会計補正予算（第1号）

1億1378万円増額

【主な歳出内容】

水源の維持管理、施設改良に要する経費など。

【全会一致・可決】

●議案40号〈予算〉
令和8年度おい町下水道事業会計補正予算（第1号）

1億7580万9千円増額

【主な歳出内容】

処理施設の修繕費のほか、下水道事業の官民連携の導入可能性を調査検討する、「ウォーターP P P導入可能性調査検討業務」に要する経費など。

反対討論・猿橋巧議員

【賛成多数・可決】

工事請負変更契約を可決

●議案41号〈総務〉
工事請負変更契約の締結について（いきいき長寿村改修工事）

【主な変更内容】

当初設計時に確認が困難な高所部分などにおいて、想定よりタイルの浮きや躯体コンクリートの損傷個所が多く確認されたことから、補修個所を増工するもの。
・変更契約金額 1075万円
・変更後契約金額 2億7453万円

・契約の相手方 株式会社 時岡組

【主な質疑】

擁壁の劣化部の補修要因は。

原因は箇所によって違うが、敷地内から水が浸出し、外に出たことによる劣化が多かった。

更新する温泉棟機械室重量シャッターの材質は前回と同じものか。

材質は前回と同様のスチール製である。

【全会一致・可決】



いきいき長寿村

動産の取得を可決

●議案42号〈総務〉
動産の取得について（トイレカー（災害用備品）

災害用備品としてトイレカーを取得するもの。

・契約金額 2766万4654円

・契約の相手方 株式会社 モンテリオン

【主な質疑】

避難所で一番困るのがトイレであり、今後台数を増やす考えはないか。

まず、この1台を購入して、その運用など経験値を積みながら将来的に必要が生じれば検討したい。また、県も同じような車両を持っており、県下の他市町でも配備が進められているため、当町で大規模災害などが発生すれば広域連携の中で協力もいただける。

町をアピールできるポディールラッピングにはどうか。

町のPRにつながるようなラッピングを検討する。

【全会一致・可決】

個人情報保護制度の実施状況について

おい町議会では、議会が保有する個人情報適正に取り扱われることを目的として、おい町議会個人情報保護条例を施行しています。
令和7年度の運用実施状況は次のとおりです。

●個人情報保護条例による運用実施状況

◎自己情報開示等の状況 0件

文化交流を未来につなぐ

議員全員視察研修

【期 旦】令和8年5月19日(火)

【場 所】北海道岩内町

木田金次郎美術館

文化を通じた地域間交流の再開と発展の可能性を探るため北海道岩内町の木田金次郎美術館を訪問しました。

交流の背景

おおい町と岩内町は、これまで文学や芸術を通じた交流が育まれてきました。

水上勉氏の代表作である「飢餓海峡」には岩内町の大火や台風災害などが作品の背景となっており、水上作品の挿絵を渡辺淳氏が手掛けるなど、両氏とも岩内町との交流は深いものがありました。また、有島武郎の代表作「生れ出づる悩み」は木田金次郎氏をモデルとしたことでも知られています。

木田金次郎美術館では渡辺淳氏による展示会や作品審査などを通じて親交が育まれていたほか、過去には美術館関係者や岩内町議会議員が「一滴文庫」を訪問し、岩内町で

「若州人形座」の公演や町物産展の開催など、文化を通じた交流がさまざまに積み重ねられました。しかしながら、コロナ禍以降交流が停滞している状況です。

これまでの交流

年	交 流 事 業
H17 (2005)	・国民文化祭ふくい2005開催 (2005.10.22~11.3) 「演劇祭(現代劇) in おおい」で、岩内市民劇場がおおい町総合町民センターで「飢餓海峡」を公演
H22 (2010)	・岩内町で「おおい町物産展」を開催
H24 (2012)	・岩内地方文化センターで、「おおいのこどもたち展」開催 渡辺淳氏が、「ふるさとこども美術展」の特別審査員と、講師を務める
H28 (2016)	・おおい町で相互の文化交流会「おおいわコンサート」を開催
H29 (2017)	・岩内町文化協議会主催とおおい町文化協会が共催し、「北海道岩内町文化交流事業」を実施 ・会場でおおい町物産展を開催、文化少年団が岩内町の子供たちとホタテの殻むき体験などで交流

視察状況

木田金次郎美術館や郷土資料館では渡辺淳氏の作品が丁寧に保管されており、美術館長からは、木田金次郎の画風や渡辺淳氏との交流、水上勉氏や有島武郎ら作家との関わりについて詳しく説明を受けました。

視察終了際に「岩内町とおおい町とのご縁は偶然ではなく必然ではないか」との言葉があり、先人たちが築いてきた絆の深さを改めて実感しました。



木田金次郎美術館



渡辺淳氏が岩内町に送った絵手紙

今後は、文化交流をはじめ、互いの町が誇る特産品や地域資源を生かした新たな交流が、官民連携のもとで広がっていくことを期待するところです。

当議会としても、育まれてきた貴重なご縁を大切にしながら、交流の再開と発展の可能性についての支援を含め、研究を重ねていく必要があると考えています。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

合宿施設の工事進捗を確認

総務常任委員会所管事務調査

【期 日】 令和8年6月9日(火)

【場 所】 おおい町総合運動公園

【参加者】 総務常任委員会委員 7名

総務常任委員会では、現在建設が進んでいる総合運動公園合宿施設の所管事務調査を実施しました。

■ 研修棟の基礎工事で地面を掘削(2m50cm)すると、山側からの水の差し込みが要因で、地下水位が上昇し基礎工事が施工出来ない状況でした。



掘削時の水の状況

対策として、基礎工事周囲にライザーパイプを49本打ち込み、ポンプにて地下水を組み上げていますが、依然として水位が完全に下がらず、追加のパイプ打ち込みなどが必要になります。

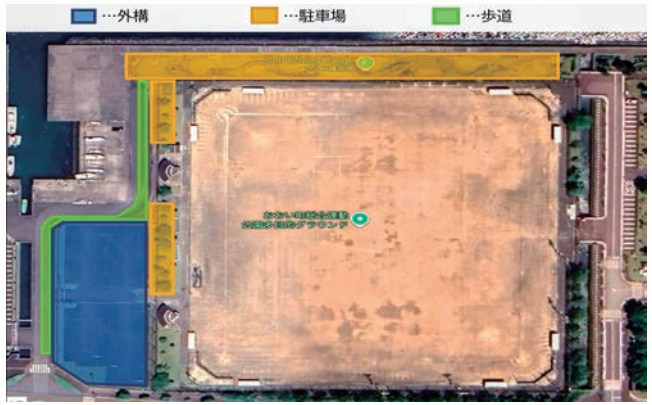
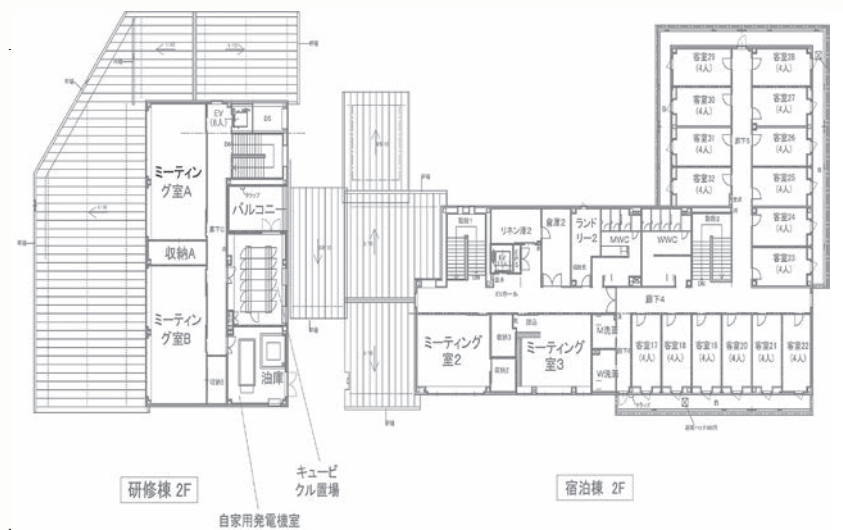
■ 宿泊棟は、躯体工事は出来上がり、内装工事に取り掛かる様子でした。宿舎の二階は開放感があり、周囲の景色も満喫出来る空間となっていますので、完成が待ち遠しいです。

【総合運動公園合宿施設の概要】

- ・ 研修棟 鉄骨造2階建 延床面積939㎡ 会議室、配膳室、食堂、浴室、管理事務所
- ・ 宿舎棟 鉄骨造2階建 延床面積1514㎡ 4人部屋30室、2人部屋2室、計124名宿泊可能、ミーティングルーム室、シャワー室、ランドリー室

■ 駐車場は、多目的グラウンドの海側のスペース(旧パターゴルフエリア)を活用して、大型バス1台と53台の駐車スペースが確保されています。

合わせて、合宿施設の裏側に27台の駐車スペースが確保されています。



駐車場外構整備予定地

高レベル放射線廃棄物の処分地は！

原子力発電対策特別委員会視察研修

【期 日】 令和8年5月18日(月)

【場 所】 原子力環境整備機構

(NUMO) 札幌事務所

【参加者】 委員12名 議長

高レベル放射性廃棄物は、地下300mより深い安定した地層へ処分することが国の方針とされており、NUMOはその調査・事業を担う機関です。

現在、北海道の寿都町および神恵内村では文献調査が完了しており、その後の取り組み状況や地域住民との対話活動、理解促進に向けた取り組みについて説明を受けました。

また、本年3月に経済産業省が公表した、東京都小笠原村に属する国有地「南鳥島」における文献調査についても説明がありました。経済産業大臣から小笠原村長へ受け入れを申し入れた経緯や、今後の進め方などについて詳しく説明を受けました。

質疑抜粋

◎ 南鳥島で最終処分地が決定するのか。

▲ 現時点で最終処分地として決定したわけではなく、まずは文献調査を進める段階である。国としては、

今後も10ヶ所程度まで調査候補地を確保していきたいと考えている。

◎ 文献調査から概要調査へ進む際には、都道府県知事の判断が大きく影響するのではないかと。

▲ 全国原子力発電所所在市町村協議会からも同様の意見をいただいている。今後也都道府県知事の意見を尊重しつつ、地域住民や地元自治体の意見を十分に反映しながら進めていく考えである。

今回の研修を通じ、原子力発電所立地地域として発電だけでなく、使用済燃料対策や高レベル放射性廃棄物の最終処分といったバックエンド対策についても正しい知識を持ち、将来を見据えた議論を進めていくことの重要性を改めて認識しました。



再稼働に向けた安全対策の現状は！

原子力発電対策特別委員会視察研修

【期 日】 令和8年5月19日(火)

【場 所】 北海道電力泊発電所

【参加者】 委員12名 議長

泊発電所では、現在進められている3号機の再稼働に向けた取り組みについて説明を受けるとともに、発電所構内を視察しました。

泊発電所3号機については、原子力規制委員会の新規制基準に適合するため、津波対策や耐震対策、非常用電源設備の強化など、さまざまな安全対策工事が進められています。

特に印象的であったのは、津波対策として整備されている防潮堤の大きさです。実際に現地で確認することで、想定される自然災害に備え、安全性を高めるための大規模な対策が講じられていることを実感しました。

また、発電所の再稼働にあたっては、安全対策だけでなく、地域住民や自治体の理解を得ることが重要であるとの説明がありました。北海道では電気料金が全国的にも高い水準にあることから、北海道電力は泊発電所3号機が再稼働した場合、電気料金の引き下げを行う方針を示して

いるとのことでした。再稼働による効果を地域住民の生活にどのように還元していくかという点も、地元理解を進める上で大切な視点であると感じました。

今回の視察を通じ、原子力発電所の再稼働には、国の規制基準に基づく安全対策を着実に進めることはもちろん、その内容を分かりやすく説明し、住民の安心につなげていく取り組みが欠かせないことを改めて認識しました。原子力発電所立地地域である当町においても、安全性の確保を最優先にしながら、エネルギーの安定供給、地域経済への影響、住民生活への還元など、多角的な視点から議論を深めていく必要があると考えます。





動画はこちら

原子力発電所の必要性について見解は

町長 日本では必要不可欠である



なかにし ひでかず
中西 秀和

問 原子力発電所の必要性について見解は。

答 (町長) 資源の少ない日本における現実的な脱炭素電源として、純国産エネルギーの原子力は必要不可欠だと認識しており、第7次エネルギー基本計画に明記のとおり、再生可能エネルギーとともに、最大限活用されるべきと考えている。

問 大飯発電所3・4号機の安全性についての見解は。

いての見解は。

答 (町長) 新規制基準に基づいたハード・ソフト両面の対策が施され、福島事故以前と比べると、安全性は格段に向上していると理解をしているが、絶対的な安全性が確保されている訳ではないということとは、事業者、国、原子力規制委員会、そして県や町の共通の認識である。

問 安全性に関する新たな知見が得られた場合の対応は。

答 (町長) 新規制基準の中のパックフィット制度に基づき、事業者には原子力規制委員会から指示がなされる。また、事業者独自で

得た新たな知見に対しても、速やかに対応していただく。

問 六ヶ所再処理工場操業開始への進捗状況について認識は。

答 (町長) 原子力規制委員会の審査対応で一通りの説明を終えたことから、最大の山場を越え、確実に前進しているものと認識している。今後もクリアされるべき項目があることから、引き続き、オールジャパン体制を持って、真摯に取り組んでいく必要がある。

問 高速炉についての見解は。

答 (町長) 高速炉開発の意義は、高レ

ベル放射性廃棄物の処分体積が、直接処分の約7分の1になることや半減期が10万年から300年に短縮されるなど、発生量および潜在的有害度の低減効果により、将来世代へのリスク低減が期待される。



高速炉のイメージ図

問 4期目の公約で、本町に人や技術を集めることを掲げているが、具体的な考えは。

答 (町長) 企業誘致や移住・定住促進など、これまでから取り組んでいるものや、SNSを活用した関係人口の拡大策や、福祉人材確保に対する支援など、既存

事業を強化する。これからの構想については、公にする段階には至っていない。

磯焼け対策は

問 大島地区沿岸で磯焼けが発生する主たる原因は。

答 (農林水産課長) ウニなどの食害生物が増えることにより、海藻が食べ尽くされることや、海水温度の上昇によって海藻が育ちにくくなるなどが挙げられる。

問 磯焼け対策として町ができることは。

答 (農林水産課長) 主にウニなどの食害生物の駆除を中心に、関係団体と連携しながら継続的に実施している。また、藻場の再生・保全に向けた対策を総合的に進めている。

指定ごみ袋の在庫は

問 町が指定するごみ袋の在庫状況や供給の見通しは。

答 (住民窓口課長) 中東危機によるナフサ由来のプラスチック製品の供給不安から、可燃ごみ袋について、一時的に在庫不足が見込まれる状況となった。しかし、在庫不足は7月末には解消する。

問 指定外袋の使用の容認は。

答 (住民窓口課長) 7月の燃やすごみの収集については、指定ごみ袋以外の透明または半透明の袋での収集を行う。なお、8月以降は通常通りの指定ごみ袋での収集を行う。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡



動画はこちら

地元で働くイメージづくりが必要

町長 学校教育と連携し、地元就職を選択できる環境を整備していく



たなか ひでき
田中 秀樹

問 国土交通省のデータでは、東京は資

産を築いたり余裕のある暮らしにおいて不利だと示している。行政が学校教育と連携し地元の暮らしの良さを促してはどうか。

答 (町長) 実質的な

豊かさという指標は、子どもたちにとって将来の選択に非常に重要な視点になる。また、大学進学や就職で転出する若者が多く、地域社会の活力維持・向上に向けた喫緊の課題だと認識して



就職フェアの様子

いる。

大学生対象の地元企業との若手社員との交流会に続き、今年度高校生に拡大し早期からの地元就職意識の醸成と地元就職の促進に努めている。

行政が学校教育と連携し、各種データや生の声を生徒や保護者へ届け、地元を魅力的な選択肢として主体的に考え選択できる環境を整備していく。

問

生活コストなどを反映した生涯の家計収支は、福井県が東京を約3000万円上回るデータがあり、地元就職を選択する促しは、Uターンの大きな要因になる。人口流出の歯止めは長期的な人口・産業政策に直結するが町長の考えは。

答

(町長) 総合的な豊かさの指標はアピールすべく、就職フェアなど色々な機会を通じて自然豊かなおおい町で暮らし選択肢を提示すべきだと思う。一旦は町外へ出ても帰っていただけ、選んでいただけの町として取り組まなければならない。

不登校児童生徒への支援は

町内の不登校の児童生徒数は何人か。

問

(教育長) 現在不登校児童生徒は1名で、昨年度は小学校3名、中学校13名の計16名である。本町の欠席数は、直近3年間おおむね横ばいの状況で推移している。

問

校内での教育支援や校外学習で出席扱いとなる場合も参加することが難しい児童生徒の居場所づくりの支援は。

答

(教育長) 校内サポートルームや相談室を活用し、一人一人の状況に応じた学習支援や教育相談を行っている。また、校内利用が難しい児童生徒には、家庭訪問や保護者との面談を行い、スクールカウンセラー・ソーシャルワ

カーと連携し、心理・生活面の支援に取り組み、必要に応じて医療機関など関係機関とも連携を図っている。



問

フリースクールのような本人や家族のペースに合わせた伴走型支援を目指した居場所づくりに取り組む考えはないか。

答

(教育長) 不登校を経験した児童・生徒で、医療・福祉による特別な支援を必要とする子ども以外は、それぞれの希望に応じて高校へ

進学している状況である。学校は居場所づくりも含めて機能しており、新たにフリースクールのような施設を設置する考えはない。

今後も児童・生徒や保護者のニーズを把握しながら既存の支援体制の充実を図り、一人一人の状況やケースに応じた支援に努めたい。



フリースクールのイメージ

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

発生し、多くの死傷者が出た蒸気漏れ事故とイメージが重なりかねない事象であった。町としては、事象後速やかに概要を聴取し、損傷した高圧タービンと同様の形状が大飯発電所にはないこと

問 5月8日に関西電力(株)美浜発電所で発生した、蒸気漏れにより、原子炉を手動停止した事象に対する町の対応は。

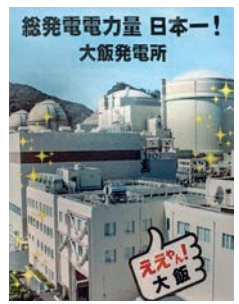
答 (町長) 2004年に美浜発電所で



動画はこちら

美浜発電所の蒸気漏れ事象に対する町の対応は

町長 大飯発電所に対し安全に万全を期すよう指導



を確認した。さらに、5月25日には、大飯発電所に対し、大飯固有のものをはじめ、全ての設備・機器の点検など安全対策について、従来の点検方法の見直しを含め、万全を期すよう求めた。また、立地住民の安全、安心の確保が第一であるため、地域に信頼される発電所運営に取り組むよう指導した。

「高潮浸水想定区域」は、従来より厳しい条件のもとで区域が示され、本郷地区や大島地区の広い範囲が浸水想定区域となっており、町の「総合防災マップ」に掲載している高潮ハザードマップと大きな違いが生じている。

問 福井県が今年の3月に定めた、沿岸部における高潮浸水想定区域「高潮浸水ハザードマップ」と、町が定める「総合防災マップ」の「高潮ハザードマップ」との関連は。

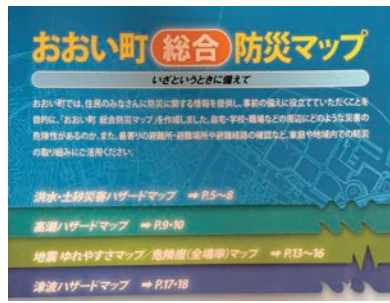
答 (防災安全課長) 今回定められた

「高潮浸水ハザードマップ」への対応は

問 修学旅行時における、班別自主行動時の安全管理体制は。

答 (学校教育課長) 修学旅行は教育活動として実施しており、実施計画書の作成、行動範囲や見学先などの下見、公共マナー、緊急時など

修学旅行の安全確保は



問 町の総合防災マップの見直し時期は。

答 (防災安全課長) 補助制度を活用し、マップの見直しを進めて行くため、最速で来年度の完成を目指す。



部活動の様子

問 遠征時などの安全管理は。

答 (学校教育課長) 休日の部活動は、地域クラブ、スポーツ少年団、保護者会で実施しており、活動計画を作成し、指導者や運営責任者のもとで実施されている。安全管理体制はスポーツ安全保険に加入し、移動時は保護者による送迎や、公共交通機関の利用を基本としている。

の事前指導の実施。班別行動時には、教員の同行などにより、安全確保に努めている。

問 スポーツ少年団活動における、移動時の安全管理体制は。

答 (社会教育課長) 町スポーツ少年団本部においてバスを手配する場合は、関係法令の遵守など、安全運行を徹底している事業者に委託し、保護者などによる送迎時は、安全確保の注意喚起や複数運転体制などについて指導している。

問 町のスポーツ少年団本部、各団体の指導者、保護者間における安全面の役割は、書面として、それぞれが確認しているのか。

答 (社会教育課長) 年度当初に各単位団体の指導者や代表者の合同会議において、おのおの役割や安全管理の重要性について、資料を交えて具体的な説明と周知を図っている。

町スポーツ少年団本部においてバスを手配する場合は、関係法令の遵守など、安全運行を徹底している事業者に委託し、保護者などによる送迎時は、安全確保の注意喚起や複数運転体制などについて指導している。



動画はこちら

本郷地区の冠水を防ぐ計画は

建設課長 ポンプ能力を約3倍に強化



さるはし けいいち
猿橋 啓一

問 本郷地区のよばた川・樋ノ口川の排水改善に向けた計画はどのようなのか。

答 (町長) 当初計画していた貯留施設主体による排水対策から、ポンプ主体の排水対策に方針転換した。既存の排水機場を10年確率の雨にも対応できる、ポンプ施設へと更新する。

問 10年確率に対応できるとは具体的にどのようなものなのか。

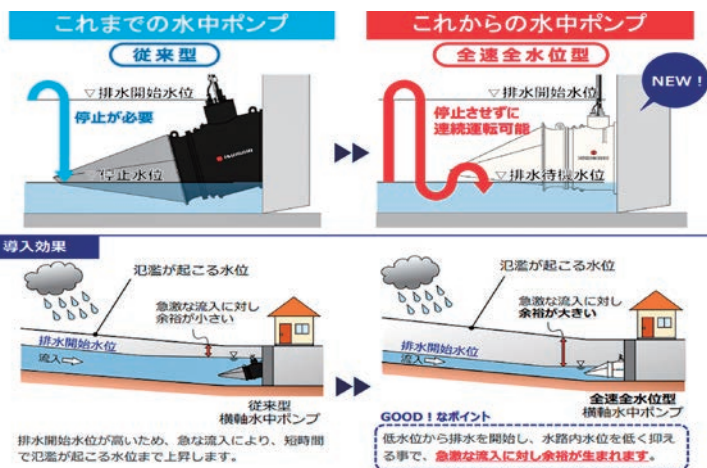
答 (建設課長) これまでは5年確率、

時間降雨量47mmとなっていたが、ポンプ能力を向上することにより、56mmの時間降雨量に対応できる。

問 新設のポンプは、既存ポンプ能力と比較してどうなるのか。

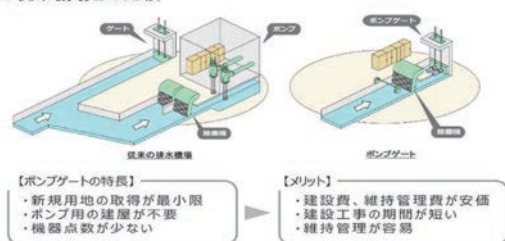
答 (建設課長) よばた川・樋ノ口川ともに、約3倍強の能力アップとなる。

問 ポンプゲートは従来に比べて利点はあるのか。



答 (建設課長) 排水機場の取水ゲートとポンプが一体的となり、ポンプ用の建屋が不要となるため用地の取得が最小限に抑えられる。また、全速全水位型という新設ポンプを計画しており、既設のポンプよりも低い水位で排水を開始できることから、大雨時の水路内水位がこれまでより低く抑えられ、急速な流入に対し、余裕が生まれる利点がある。

ポンプゲートとは
■従来機場との比較



問 樋ノ口川のポンプ排水口は、具体的な設置箇所は決まっているのか。

答 (建設課長) 本郷橋の少し上流で考えており、佐分利川の堤防を横断して佐分利川へ抜く計画としている。今後、佐分利川管理者の県と協議しながら、実施設計で詳細を詰めていく。

本郷15区周辺冠水対策

問 若狭西街道の15区周辺や本郷小学校山側周辺の冠水対策工事の詳細は。

答 (建設課長) 当箇所は令和2年度から道路冠水対策の検討を進めており、これまで調査、測量、設計業務を行ってきた。

具体的な工事内容は、道路のかさ上げや既存の

排水能力を向上させるために水路新設や拡幅など、整備を一体的に実施するもので、8年度から9年度にかけては本郷小学校周辺の工事を行い、その後、若狭西街道周辺の工事へと順次進めていく計画である。



15区周辺道路

問 西街道は通勤に利用され、通行量も多く、また、学校周辺ということもあり、子どもたちや住民の安全安心を考えると、一日でも早く対策工事の完成を願う。

町長の考えは。

答 (町長) 早期の着工、完成というものは私自身に取っても願っているため、頑張っていく。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡



動画はこちら

自衛隊の誘致は

町長 国への要望を粘り強く継続する



つじ とおる 町長

問 国へ要望している
嶺南地域への自衛
隊配備の進捗状況は。

答 (防災安全課長)
令和10年度からの
次期防衛力整備計画に向
け、国に強く訴えかける。

問 自衛隊の常駐部隊
は防災・災害対応
力向上に寄与するのでは
ないか。

答 (防災安全課長)
自衛隊の迅速な初
動対応体制の確保が重要
である。平時から有事へ
の円滑な移行と迅速な事
態対処が不可欠である。



防災訓練時の自衛隊ヘリ

防災・危機管理
体制の強化は

問 防災および危機管
理体制の課題と改
善すべき点は。

答 (町長) 自然災害
や原発防災への対
応を強化する一方、担い
手不足や専門人材の確
保・育成が課題である。

問 総務省が推進す
る地域防災マネ
ジャー制度を活用して退
職自衛官を採用する考え
はないか。

答 (総務課長) 防災
体制強化へ制度活
用は有効であり、職責や
処遇等の課題を整理し、
効果的導入を検討する。

学校周辺における
熊対策は

問 学校周辺の熊の出
没状況の把握は。

答 (農林水産課長)
通報などで出没を
把握している。今後情報
共有システムを構築し体
制を強化する。



体制図イメージ
(フマ対策の場合)

問 情報共有、連携
制は。

答 (農林水産課長)
熊出没時は迅速に
関係機関と情報共有し、
住民・学校へ周知している。

問 熊を人里に寄せつ
けないための環境
整備は。

答 (農林水産課長)
通学路の草刈り、
放任果樹の伐採など環境
整備を進めている。

問 登下校時の安全確
保策は。

答 (教育長) 学校と
連携し、状況に応

じた対策で児童・生徒の
安全を確保している。

問 熊出没に関する町
長の所見は。

答 (町長) 当面は出
没時の対応と環境
対策を行う。県による個
体数管理をすべきであ
り、県へ要請する。

郷土愛を育む
教育

問 各地区の歴史文化
資源を整理し、活
用する考えは。

答 (学校教育課長)
体系的に整理し、
学校教育などで活用でき
る形にすることを検討し
ている。

問 埋もれた歴史文化
資源を掘り起こし
てはどうか。

答 (学校教育課長)
文化財総合調査の
結果を整理・資料化し、
教材活用を検討する方針
である。



石山城跡の発掘作業

問 地域の歴史、文
化、自然、産業、
人物をまとめたおい町
デジタル副読本を制作す
る考えは。

答 (教育長) 地域資
源の整理を進めつ
つ活用を検討する。

問 町長の子どもたち
への教育に対する
所見は。

答 (町長) 地域交流
を通じたふるさと
教育で郷土愛を育み、将
来子どもたちが帰ってき
たくなる町づくりを検討
する。



動画はこちら

乾式貯蔵施設建設の事前了解判断は

町長

県や立地地域の議論も踏まえ、総合的に判断する



さるはし たくみ
猿橋 巧

問 県営工事などへの町負担率の軽減を要求すべきでは。

答 (副町長) 町民が受益を受ける事業や、町から整備を要請する事業であることから、受益者負担の原則に基づき、応分の負担は必要と考える。

問 こども家族館における町費持出しは、指定管理者制度の枠を超えているのでは。

答 (住民窓口課長) 県との協定による運営経費を負担している。

る。企画展の費用や、ク

ライミングウォールに係る運営費用なども支援が

受けられるようになり、

今後県には支援・協力を要請しながら、適切な施設の運営に努める。

問 福井県地方税滞納整理機構への派遣や負担金支出は、法的根拠の薄い事業ではないか。

答 (税務地籍課長) 自治体間の協定締結ならびに地方自治法に基づき補助機関としての身分を付与する「併任手続」などの行政手続きを経たうえで、事務を執行しているもので法令に基づき適正に執行されている。

問 小中学校の町単独講師配置は教員・

支援員を合わせ20名を超える。正職教員の増員配置を要求すべきでないか。

答 (教育長) 必要な教員定数の確保や、学校の状況に応じた加配教員の充実を県教育委員会に対して行った結果、「通級指導担当教員」など、加配教職員が増員された。引き続き、県への働きかけを行う。

原子力行政

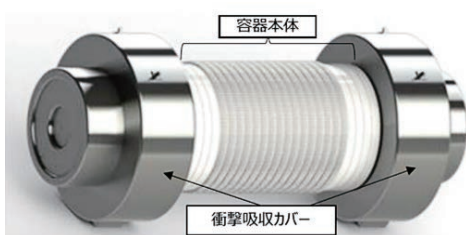
問 核燃料税交付金は、全体額から県事業の少子化対策分を外し後に配分しているが、外出し前の全体額を立地市町の配分とすべき。

答 (町長) 今回の更新に当たって、本来の原則に立ち返り、立地市町に対して、核燃料税全体の4割を配分とすることを、立地市町全体で県に対し強く要望する。

現在【第10期】の核燃料税の配分割合		
県	市町広域	
	県の事業	核燃料税交付金
少子化対策分	52.5%	35.0%
12.5%	6	4
86.6億円	363.9億円	242.6億円
第10期総額 693.1億円		

問 乾式貯蔵施設建設の事前了解判断が進む状況だが、町はどう判断するのか。

答 (町長) 大飯発電所の乾式貯蔵施設については、現在、新規制基準適合性審査中であり、事前了解判断の過程に入る大前提で安全性の確認が終了しておらず、判断への方針を明確にする段階にないが、県および2つの立地町での議論も踏まえ、総合的に判断する。



輸送容器全体図(イメージ図)

問 再処理工場の操業開始が遅れば、乾式貯蔵施設が中間貯蔵施設となる懸念がある。

答 (町長) 住民の安全・安心を確保するため、計画の着実な遂行に向けた取り組みについて、事業者や国など関係機関に対し、今後とも強く要請や発信を行う。

ごみ袋対策

問 ごみ袋の不足による、販売枚数の制限はあるか。

答 (住民窓口課長) 一時的に在庫不足が見込まれるため、「燃やすごみ」専用ごみ袋に限り、販売枚数を1世帯1パックまでに制限する。

問 ごみ袋無料配布を復活させる考えはないか。

答 (住民窓口課長) 「ごみの分別」や「ごみの排出量抑制」への意識の醸成を図るうえで一部費用負担は必要と考える。無償配布については、現在のところ、復活させる考えはない。

追跡!

一般質問の
行方

あれから どうなったの?

議会だよりでは、定例会議での一般質問の要旨を掲載しています。議員からの提案などがどのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。



コンビニでの住民票など 交付システムの整備は

コンビニでの住民票などの交付システムの整備を早急に行うべきではないか。
(令和6年12月議会 堤満也 議員)



答 弁

令和8年度中に整備する 方向で取り組む

現在、国が進めるシステム標準化作業を行っており、終了後の令和8年度中に整備する方向で取り組む。



どうなった?

令和8年度(令和9年2月)から 交付開始

令和8年7月からシステム整備を行い、令和9年2月から全国どこでもコンビニでの住民票などの取得が可能となる。



コンビニに設置されている端末



夏場の水不足の対応は

今夏の水不足の状況と町の対応策は。
(令和7年9月議会 猿橋巧 議員・寺井義孝 議員)



答 弁

佐分利川で仮設ポンプ6ヶ所 設置し対応した

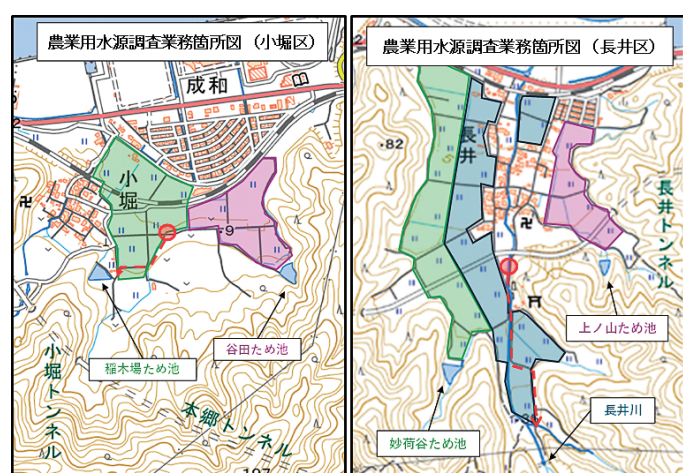
今後の対応は、農家組合などの関係団体に聞き取りを行う予定。



どうなった?

小堀・長井地区の農業用水源 調査業務開始

ボーリングによる調査(φ86mm深度10m)を実施し、揚水試験・水質検査を行う。



※ 調査箇所は、現地調査などにより決定

輝く児童たち

名田庄小学校

少子高齢化が進み、児童数が減少している中、各小学校は地域コミュニティの中心に位置し、守る必要があります。本年度はおおいた町の各小学校を紹介します。

名田庄小学校の紹介

Q 小学校の教育目標を教えてください。

A 「なかまとともにたくましくしょうらいへの道を切り拓く子」として3つの大柱を中心に目指す児童像を目指しています。

Q 3つの大柱とは？

A 「自他を大切にし、思いやりのある子」「心も体もたくましく、ねばり強く挑戦する子」「自分の考えを持ち、行動する子」です。



感謝祭に向けて稲刈り



居会館探索

低学年：お兄ちゃん、お姉ちゃんがいると安心

高学年：滑ってこけないでね



自然薯を使った商品を作りたい！



取材に訪れたとき、子どもたちが元気に挨拶してくれました！ありがとうございました。次回は佐分利小学校にお邪魔いたします。

ふるさと学習の様子



いろんな「ふる里」があるよ。みんな食べてね～



どの名田庄漬け（ふる里）を出そうかな～？カラフルなバリエーションにしたいな

たてわり祭り練習の様子



一致団結

～ベストを尽くせ87人！～



Q 独自に力を入れていることはありますか？

A 「ふるさと学習」や「学年横断・たてわり活動」に力を入れています。地域の方々との交流や、低学年と高学年が手を取り合い色んなことに挑戦しています。

Q 町に対するご意見はありますか？

A 各学校の体育館に本格的な冷暖房設備が整備されると聞き、子どもたちの快適な活動のために投資してもらえることは本当にありがたいです。

心配事としては、クマの出没で、放課後、児童たちが遊んでいるときや帰宅時に遭遇しないか大変心配しています。

おおいた町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会議は9月です。傍聴について詳しくは議会事務局（77-4060）までお問い合わせください。

9月
定例会議の
予定

会 期：9月3日から9月18日まで（16日間）
本会議：9月3日（議案提案理由説明）、9月15日（一般質問）、9月18日（採決）
委員会：予算決算常任委員会（9月3日、8日、9日）
総務・産業建設常任委員会（9月4日）
台湾友好交流促進・原子力発電対策特別委員会（9月10日）

編集後記

今年の梅雨こそ、空梅雨となりませぬように祈っています。今回の議会広報では、議会の活動や町の取り組みについて、分かりやすくお伝えできるよう編集しました。この広報誌が、皆さまに議会を身近に感じていただくきっかけとなれば幸いです。

おおいた町には、地域で支えあい、声を掛け合う温かなつながりがあります。これからも、皆さまの声を大切にしなが、町の未来につながる広報づくりに努めてまいります。

夏本番を迎え、地域の行事や交流の機会も増える季節です。皆さまが元気に夏を過ごされまことを願っております。

（高本 記）

● 広報特別委員会

委員長	細川 正博
副委員長	中西 秀和
委員	堤 満也
	田中 秀樹
	高本 和良
	寺井 義孝
書記	山口 将史